

令和5年度 第2回 津駅周辺道路空間再編検討委員会 議事要旨

1. 日 時 令和6年2月26日(月) 10:00~

2. 場 所 三重河川国道事務所 3階 災害対策室

3. 委 員 別紙のとおり

4. 議 事

- 1) 交通拠点に求められる機能調査(交通実態調査・人流データ分析)
- 2) 賑わい創出の取組結果について
- 3) 津駅東口周辺まちづくり懇話会について
- 4) 津駅西口エリアマネジメント会議について
- 5) 次年度以降の検討について

5. 委員からの意見

- 1) 交通拠点に求められる機能調査(交通実態調査・人流データ分析)

(主な意見)

・人流データ分析について、平日と休日で朝ピークの時間は異なると考えられる。休日のピーク時間をずらして分析すると、もう少し特徴が出てくるものと考えられる
⇒休日の分析時間帯が適切かということも含めて、改めて整理させていただきたい。【事務局】

- 2) 賑わい創出の取組結果について

・来場者や出店者から、トイレの不足に関する意見は出ていないか。
⇒今回の社会実験ではトイレに対して意見はいただけていないが、将来整備するとなった際は検討が必要と考える。【事務局】

・イベント開催して賑わいの調査を進めているが、単発的な効果を見ようとしているのか、常設で効果を上げようとしているのかの意識統一は必要と考える。
⇒社会実験の結果、道路空間で賑わいを創出できることを確認できたため、来年度以降、空間の拡張に向け設計に着手し、民間の力によって常設的に賑わいを創出することを考えている。【事務局】

- 3) 津駅東口周辺まちづくり懇話会について

・懇話会の議論において、津駅東側は津波浸水が想定されていることもあり、東西自由連絡通路など、見える形で住民の安心安全につなげてほしいという意見があった。また、昼夜を通して賑わいを創出できる取組みが必要であり、憩いの場や休憩スペースを設けることで、まちづくりにつなげていけないかという意見があった。
・2033年に伊勢神宮の式年遷宮が予定されており、ターゲットとなる時期をしっかりと持ちながら議論するべき
⇒意見のため、事務局回答なし。

- 4) 津駅西口エリアマネジメント会議について

◆質疑応答なし

5) 次年度以降の検討について

(主な意見)

- ・リニア中央新幹線の整備予定もあり、大きな人流の変化が想定されるため、人の移動の特徴を捉える必要がある。来街者を対象としたアンケートの実施など、検討されたい。
⇒具体のリニア駅整備箇所が示されたら、具体の検討を進めたい。
- ・懇話会やエリアマネジメント会議の設置など、地区別に具体的に動き始めたのは良いこと。国、県、市、民間など主体が複数あるため、目指す方向を示す津駅周辺の将来ビジョンがあった方がよい。
⇒一歩踏み込んだ議論ができるよう、検討を進めていく。

以 上

令和5年度 第2回 津駅周辺道路空間再編検討委員会 出席者名簿

令和6年2月26日（月） 10:00～
三重河川国道事務所 3階 災害対策室

区分	所 属	氏 名	出 欠
1 委員長	三重短期大学生活科学科 教授	オノデラ 小野寺 一成 カズシゲ	出席
2 副委員長	近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科 教授	ナカヒラ 中平 ヤスユキ 恭之	出席
3	三重県トラック協会 専務理事	カワカタ 川方 ヒサシ 尚	欠席
4	三重県バス協会 専務理事	アオキ 青木 シュウジ 周二	出席
5	三重県タクシー協会 津支部長	ムラタ 村田 トモカズ 友和	欠席
6	東海旅客鉄道株式会社 担当課長	ヒライ 平井 タカシ 崇士	代理出席【WEB】 伊藤 健
7	近畿日本鉄道株式会社 課長	ナカムラ 中村 ダイスケ 大輔	出席
8	三重交通株式会社 部長	マスダ 増田 コウジ 浩士	出席
9	津商工会議所 女性会 会長	マツダ 松田 ヒロコ 弘子	出席
10	津市観光協会 専務理事	タケガワ 武川 アキヒロ 明広	出席
11	津駅前通り商店街振興組合 代表	オノ 小野 ケンイチ 欽市	出席
12	津駅前ストリート倶楽部 会長	アオヤマ 青山 ハルキ 春樹	出席
13	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 所長	トキオカ 時岡 トシカズ 利和	出席
14	三重県県土整備部 部長	ワカオ 若尾 マサノリ 将徳	出席
15	津市都市計画部 部長	ミヤタ 宮田 マサシ 雅司	出席
16	津市建設部 部長	ワタナベ 渡邊 コウリュウ 公隆	出席
17	津市商工観光部 部長	タマキ 玉木 コウキ 幸樹	出席

事務局	国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所 計画課
	三重県県土整備部 道路企画課
	津市建設部 事業調整室